

Sustech と両備ホールディングスが資本業務提携 共同で 200 億円規模の再生可能エネルギーファンドを設立へ

2022 年 9 月 1 日

株式会社 Sustech

両備ホールディングス株式会社

株式会社 Sustech（代表取締役：丹野裕介・飯田祐一郎／以下、Sustech）と両備ホールディングス株式会社（代表取締役社長：松田敏之／以下、両備 HD）は資本業務提携契約を締結し、太陽光発電案件を主な投資対象とする再生可能エネルギーファンドを共同で設立することに合意いたしました。



ファンド設立合意の背景

Sustech と両備 HD は、Sustech が開発する電力運用プラットフォーム「ELIC」を用いた地熱発電運用の実証実験を共同で実施する等、カーボンニュートラル社会の実現に向けてこれまでも協業してまいりました。

両社が連携を進めていく中で、再生可能エネルギー（以下、再エネ）をより普及・発展させていくためには、資金供給も含めたビジネスエコシステムの構築が必要と考え、太陽光発電所の設置・運用保守ノウハウや独自の電力運用プラットフォームを保有する Sustech と、私募 REIT 等豊富なファンド運用実績を持つ両備 HD で、共同ファンドの設立に向けて始動するに至りました。

太陽光発電案件を中心に投資し、電力運用支援も実施予定

ファンド運用総額は 200 億円を想定しており、投資対象は主に FIP 制度を活用した太陽光発電案件を予定しております。FIT 制度（再エネ電気の固定価格買取制度）の買取期間が順次終了していくことに伴い、今後は FIP 制度（市場連動の売電価格にプレミアムを上乗せする制度）を活用した再エネ導入が期待されており、新ファンドでは FIP 制度を活用した太陽光発電案件を中心に投資していくことで、再エネの更なる普及に貢献してまいります。

また、Sustech が運営する電力運用プラットフォーム「ELIC」では太陽光の発電量予測技術の高度化を実現しており、「ELIC」を活用することで FIP 制度における課題とされているインバランスリスクも低減しながら、投資プロジェクトの再エネ電力管理・運用支援についても提供していく方針です。

この度の合意に基づき、Sustech が持つ太陽光発電プロジェクトに関するネットワークと両備 HD のファンドマネジメントノウハウを活かして、今後新ファンドの早期立ち上げを目指して協業を進めてまいります。

■株式会社 Sustech について

「テクノロジーを通じて、企業と社会のグリーントランスフォーメーション（GX）を支援する」をミッションに掲げたエネルギーテック会社。カーボンニュートラル社会の実現に向け、GHG 排出量の可視化から削減策のご提案、分散型電力の管理や環境価値運用等、企業の環境対応における課題をワンストップで支援をしている。

代表取締役：丹野裕介・飯田祐一郎

住所：東京都港区芝 3-1-14 阪急阪神ビル 5 階

設立：2021 年 6 月

資本金：7.3 億円（資本準備金含む）

HP：<https://sustech-inc.co.jp/>

■両備ホールディングス株式会社について

創業以来 100 年超に渡り、人・モノ・情報を「運ぶ」ことに特化して事業を拡大。現在は「トランスポート&トラベル部門」「ICT 部門」「くらしづくり部門」「まちづくり部門」の事業セグメントで企業数 42 社を擁す両備グループの中核企業で、国内外問わず、地域に根差し地域発展に資する事業を水平・垂直に展開している。

代表取締役社長：松田敏之

住所：岡山県岡山市北区下石井 2-10-12 杜の街グレース オフィススクエア 5 階

設立：1910 年 7 月

資本金：4 億円

HP：<https://www.ryobi-holdings.jp/>